



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA  
Japan

幹事会  
〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

www.alpajapan.org

Date 2004.8.7 No. 27 - 113

## 日航706便裁判

# 検察当局が控訴しました！

日乗連は世界中の乗員の仲間とともに

無罪確定に向けて徹底的に闘います

検察当局は2004年8月6日、日航706便裁判の無罪判決を不服として控訴しました。

7月30日に名古屋地方裁判所が言い渡した判決では、事故調査報告書を準鑑定書として証拠採用した重大な誤りがありました。また機長の操作に関しても、最初の機種上げの原因は不明・上下の繰り返しも機長の操作以外が原因としているものの、その他の事実認定には誤認があります。(この点に関しては、日乗連技術サポートチームによる解析で明らかになっており、公判においても会社側証人が同様の証言をしています)従って、内容には大きな問題があるものの、「当該機長は無罪」という判決そのものは、当然の事とはいえ評価できるものでした。

同日 IFALPA、日乗連、日航機長組合、そして弁護団が記者会見を開き、検察当局に控訴を断念するよう強く要請したにもかかわらず控訴したことは遺憾です。

今回の判決理由を正確に理解すれば検察には控訴する根拠が無く、控訴は検察当局の暴挙であり、税金の無駄使いであるといえます。また今後の事故調査に大きな影響を与えるでしょう。

日乗連は以下の声明を発表しました。

### 日航706便事故裁判に於ける、検察当局の控訴について

名古屋地検の起訴理由である「事故の端緒となった、機首上げの原因は機長の操作」が名古屋地裁により「機首上げの原因は機長の操作では無い」と否定されたにもかかわらず、検察が控訴したことは全くの暴挙というほかはない。日乗連は世界の定期航空会社で働くすべての運航乗務員とともに、今後も高本機長を全面的に支持し、無罪獲得の為に徹底的に闘う。

2004年8月6日

日本乗員組合連絡会議

